

祝 辞

本日、ここ海上自衛隊第1術科学校大講堂において、第51期一般幹部候補生課程の入校式が挙行されるにあたり、江田島市民を代表して、一言お祝いの御挨拶を申し上げます。

幹部候補生の皆様、御入校おめでとうございます。

皆様は、この伝統ある幹部候補生学校にめでたく入校され、本日より、旧海軍兵学校の時代から、我が国の国防を担う有能な精鋭達が集う教育の聖地において、幹部自衛官を目指し練成訓練を受けることとなりました。

我が国の将来を担う皆様をお迎えすることは、地元江田島市としても大きな喜びであり、心より歓迎を申し上げます。

さて、我が国を取り巻く安全保障環境に目を向けますと、米国・韓国が大規模な軍事演習を行うなど、北朝鮮に対する警戒感を強める一方、北朝鮮は弾道ミサイルの発射実験など、ミサイル開発を急加速しており、東アジアにおける安全保障環境は緊張感に包まれております。

こうした情勢下において、自衛官の皆様が、日本国民の生命・財産を守り、平和の安定に日々貢献されていることは、大変心強く、頼もしく思っております。

どうか、皆様におかれましては、旧海軍兵学校の伝統を受け継ぐ

ここ江田島で、組織の先頭に立つとともに、国際社会の一員として、世界の舞台で活躍する幹部自衛官となるため、厳しい教育のもとで、その職責を果たすための高い教養と技能を身につけていただきたいと思っております。

皆様御存知のとおり、ここ江田島は、今から129年前、明治21年に、海軍兵学校が東京築地から移転し、その後、昭和31年に海上自衛隊をお迎えしてから現在に至るまで、共存共栄、一体不可分の関係で発展しており、自衛隊の皆様との「縁」を大切にしてきた地でございます。

本市は、四季折々の美しい自然に囲まれ、秀峰、古鷹を望む風光明媚な瀬戸の島として、親しまれております。季節折々には様々な行事が催され、夏には海水浴などの海洋レジャーを楽しむことができます。

ぜひ、厳しい訓練の合間には、こうした地域の催しにも御参加いただき、江田島市の恵まれた自然や豊かな人情に触れ合い、江田島市との「縁」を紡ぎながら、思い出深い学生生活を送っていただきたいと思っております。

どうか、くれぐれも健康に留意していただき、全員元気な姿で卒業の日を迎え、幹部自衛官として、国民の信頼と期待に応えるべく活躍されることを切に願っております。

結びになります。日本国の繁栄、海上自衛隊の益々の御隆盛、御発展、そして皆様の御健勝と更なる御活躍を心よりお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。

平成29年6月1日

江田島市長 あきおか 明岳 しゅうさく 周作